

<エントリーシート> ※事務局記入欄 No.: C-28	部門 校内研修部門	学校名・氏名 津野町立葉山小学校
	活動名 チーム葉山で授業改善 「考え議論する道徳」の授業づくり	

課題の設定：

本校では、本年度より高知県から「道徳教育推進拠点校事業」の指定を受け、道徳の授業改善、評価の研究を行っている。しかし、本年度赴任した担任が約8割を占め、若手教員も5割を超える。そこで、学校組織として、全員が「道徳」に関わり、授業改善することで、教員の指導力向上を目指して取り組むことにした。目標は、「児童も教員も考え、語り合うことが楽しい道徳授業の構築」である。

方針・計画：

課題を解決するためには、次の3点が大切であると考えた。
 ①授業のイメージを共有すること。②教師の指導力を向上させること。③教職員全員が関わることで教師の充実感を高め、児童の意欲を引き出すこと。
 これらの視点を生かしながら、研修の時間だけではなく、日々の授業でOJTを中心に行っていくことにした。

活動内容：

【校内研修の充実】（資料1）
 第1回、第2回の校内研修で、授業で目指したい児童の姿を確認し、実際に授業を見ながら、目指す授業を確認した。また、研究授業を各学年1回以上行った。授業後には、指導主事から授業づくりや評価についての講話を伺い、共通理解を図っていった。

【日々の道徳授業で授業改善】（資料2）
 日々の授業の前に、略案を作成して、事前研を行い、発問、板書、授業のねらいについて深めた。また、授業を管理職、道徳推進教師が参観し、授業の記録も筆記、映像、写真で残した。授業後には、事後研を行い、授業の振り返り、児童の見取りの共有を行い、次時への課題を明確にしなが授業改善を行った。

【アンケート調査の実施】（資料3）
 児童と教員に意識調査のアンケートを行い、変容を分析した。

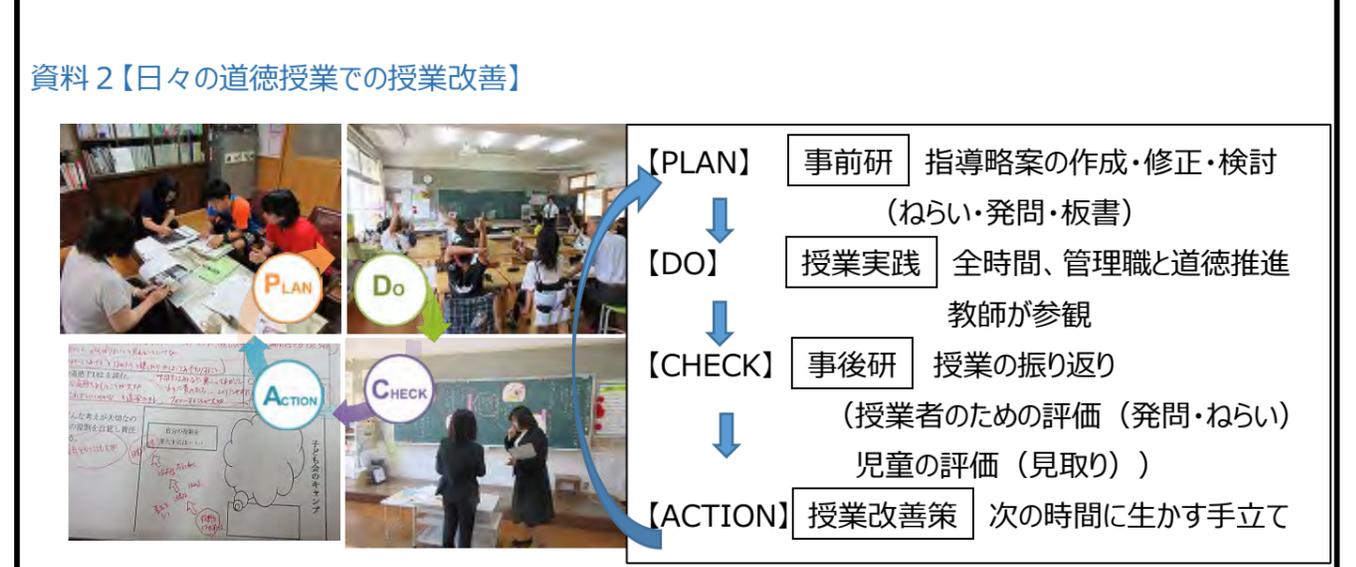
活動の成果：

【教職員】
 ◎授業のイメージをつかみ、自信をもって指導できる教員が増えた。
 ◎全員が授業をすることで、授業づくりに対する理解が進み、授業への工夫が見られるようになった。（授業に深まりが出てきた）
 ◎教職員間で道徳の授業に対する会話が 많아 なった。（担任でない教員も授業に自主的に参加・参観）

【児童】
 ◎道徳の授業が好きな児童が増え、自分ごととして捉え、発言したり、振り返ったりする児童が増えた。

アピールポイント（アイデアや工夫）：

- 日常的に、事前研、事後研も含めて、休み時間や放課後の10分～15分のすきまの時間を活用し、OJTで授業改善を行っている。
- 全教職員で関わり、組織で計画的に授業改善に取り組んだ。（学び合う雰囲気・人間関係づくり）
- ゴールイメージを共有することで、教職員のベクトルを合わせ、児童も見通しをもてたことで成果を挙げた。



資料3【アンケート結果より】

【教職員のアンケート結果より】			
質問項目	4月末	9月末	
1 道徳の授業のイメージをつかんでいますか。	67%	100%	
2 自信を持って、指導していますか。	58%	92%	
3 教材分析の仕方が分かりますか。	58%	100%	
4 考える必然性のある発問、多面的・多角的に考えられる発問ができますか。	50%	75%	
5 道徳の授業が楽しいですか。	67%	83%	

【教職員の声より】

- 事前研のおかげで、教材分析の仕方が分かるようになった。他の先生の考えも聞け、授業に幅がでるようになった。
- 板書や価値の深め方、授業の展開の工夫について、理解が深まってきた。
- 授業参観があり、多くの先生で子どもを見取ることができるのはとても有効である。
- 他の先生の授業も見に行きたいし、自分も見てもらいたい。
- 目指す授業の視点を教師も児童も意識することで、授業改善ができています。

成果に結びついた。

教師の指導が変われば、児童も変わる。お互い目指す授業を共有したことで、

【児童のアンケート結果より】			
質問項目	4月末	9月末	
1 道徳の勉強は好きですか。	92%	93%	
2 道徳の授業では、自分の考えを伝えたり、ほかの人の考えを聞いたりしながら、自分のこと（生き方）についてよく考えている。	97%	95%	
3 道徳の授業で、よかったところはどこなところですか。			
○友達の考えを聞いて、「なるほど」と思うところ。（80%）			
○これからの生活や生き方について考えることができること。（77%）			
○自分の経験を振り返って、発表できること。（76%）			
○友達の考えとちがったいろいろな意見を出し合うこと。（76%）			
○自分の思ったことをなんでも言えること。（75%）			
○頑張ったら、褒めてもらえること。			